



since 1959  
State opera Slovakia

バンスカ・ビストゥリツァ スロヴァキア国立歌劇場

# 魚沼スロヴァキア国立オペラ2017

オペラのエッセンスを凝縮し、ナレーションで紡ぐ、コンサートオペラ。  
スロヴァキア国立歌劇場のソリストたちが繰り広げる圧倒的な歌の世界。

コンサートオペラ

ロッシーニ作曲

# セヴィリアの理髪師

Il Barbiere di Siviglia

2017.7.2(日)

キャスト

第一部：「セヴィリアの理髪師」



マリアナ・ホヘロヴァー  
ロジーナ役



ドゥシャン・シモ  
アルマヴィーヴァ伯爵役



マルティン・ポボヴィッチ  
理髪師フィガロ役



マリアン・ルカーチュ  
ロジーナの叔父バルトロ役

午後3時開演(午後2時30分開場)  
魚沼市小出郷文化会館 大ホール

入場料(全席自由) 一般 3,000円(当日 3,500円)  
25歳以下 2,000円(当日 2,500円)

● チケット取扱い先

魚沼市小出郷文化会館  
コミュニティホールさわらび  
南魚沼市民会館  
十日町市市民会館  
蔦屋書店小千谷店  
長岡リリックホール  
新潟スロヴァキア協会事務局

● お問い合わせ先

〒946-0023  
新潟県魚沼市干溝 1848-1  
魚沼市小出郷文化会館  
TEL 025-792-8811  
E-mail contact@koidegobunkakaikan.jp  
http://www.koidegobunkakaikan.jp/

第二部：オペラとオペレッタの名曲



パトゥリーツィア・  
マツァーク=ソロトウルコヴァー  
ソプラノ



カタリーナ・プロハースコヴァー  
ソプラノ



シモン・スヴィトック  
バリトン



マルティナ・スヴィトコヴァー  
ピアノ伴奏



ルドルフ・フロマダ  
歌劇場総支配人



橋本 ダナ  
ナレーション

● 主催 NPO 法人魚沼交流ネットワーク

魚沼市小出郷文化会館

● 後援 スロヴァキア共和国文化省

駐日スロヴァキア共和国大使館

新潟スロヴァキア協会

日本チェコ協会/日本スロバキア協会北海道支部



このバンスカ・ビストゥリツァ スロヴァキア国立歌劇場の公演は、質の高いオペラを、手頃な価格で市民の皆様に提供するとともに、公演を通して、スロヴァキアと日本との文化交流を行うことを目的としています。



# YOKOHAMA SLOVAKIA OPERA 2017

「コンサートオペラ」は、よく知られているアリアを中心にストーリーを再構成したオペラのダイジェスト版です。最小限の小道具と、表現力豊かなピアノの伴奏により、ソリストたちの歌を最大限に堪能することができます。

## PROGRAM

### 第一部 コンサートオペラ 「セヴィリアの理髪師」

(ジョアキーノ・ロッシーニ作曲 オペラ「セヴィリアの理髪師」ダイジェスト版)

#### ■キャスト

ロジーナ (親の遺産相続人、美しい令嬢)	マリアナ・ホヘロヴァー (ソプラノ)
アルマヴィーヴァ伯爵 (ロジーナに恋をする若き貴族)	ドゥシャン・シモ (テノール)
フィガロ (人気者の理髪師、町の相談役)	マルティン・ポポヴィッチュ (バリトン)
バルトロ (医師、独身、ロジーナの叔父で後見人)	マリアーン・ルカーチュ (バスバリトン)

#### ■あらすじ

時は18世紀、舞台はスペインの町セヴィリア。若くして親の莫大な遺産を継いだ令嬢ロジーナは、後見人である叔父、医師バルトロの家に身を寄せています。年が離れた独身の叔父は、美しいロジーナと結婚し、その財産も手に入れようと目論み、他の男性との出会いがないように監視しています。ところがある夜、ロジーナを見そめた若き貴族アルマヴィーヴァ伯爵が窓の下でセレナードを歌って恋を告白します。ロジーナは窓から紙切れを落とし、彼の名前を問うと、伯爵は彼女の心を試すため、貧しい学生リンドーロと名乗ります。そしてそこを通りかかった町の相談役、理髪師のフィガロの協力を取り付けます。フィガロはロジーナの手紙を伯爵に届けたり、ロジーナに近づく作戦作りを助けたりします。伯爵は助言に従って酔っぱらった兵士に変装し、バルトロ邸に泊めてもらうのですが、バルトロに怪しまれ作戦は失敗します。次にロジーナの音楽教師バジリオの代理としてやってきます。しかし今度もバルトロに怪しまれたので、味方と思わせるためロジーナが書いた手紙を彼に渡します。稽古中、気持ちを確かめ合った二人は、その夜、駆け落ちすることを決意します。フィガロもそれを助けようと、バルトロの髭を剃った際、館のバルコニーの鍵を手に入れます。バルトロは二人の関係を察知し、ロジーナに例の手紙を見せ、リンドーロが彼女を裏切ったと信じさせます。怒ったロジーナは自ら進んで叔父との結婚を決意します。夜になり、伯爵とフィガロがバルコニーから忍び込みますが、ロジーナは怒っています。伯爵が身分を明かし事情を説明すると、彼女も納得し、二人はやってきた公証人によって正式に結ばれます。心の広い伯爵はバルトロにロジーナの財産を残し、物語はめでたく終わります。

### 第二部 アリアとオペレッタの名曲

1. ルサルカのアリア (A. ドヴォジャーク「ルサルカ」) ..... P. マツアーク=ソロトウルコヴァー
2. ロドリゴのアリア (G. ヴェルディ「ドン・カルロ」) ..... S. スヴィトック
3. ノリーナのアリア (G. ドニゼッティ「ドンパスクワーレ」) ..... K. プロハースコヴァー
4. トスカのアリア (G. プッチーニ「トスカ」) ..... P. マツアーク=ソロトウルコヴァー
5. ノリーナとマラテストのデュエット (G. ドニゼッティ「ドンパスクワーレ」) ..... K. プロハースコヴァー
6. マリツアの歌 (E. カールマン「伯爵令嬢マリツア」) ..... P. マツアーク=ソロトウルコヴァー
7. タシロの歌 (E. カールマン「伯爵令嬢マリツア」) ..... S. スヴィトック
8. ジュディッタの歌 (F. レハール「ジュディッタ」) ..... K. プロハースコヴァー
9. ハンナとダニロのデュエット (F. レハール「メリーウイドウ」) ..... P. マツアーク=ソロトウルコヴァー、  
S. スヴィトック
10. ロザリンダの歌 (J. シュトラウス「こうもり」) ..... K. プロハースコヴァー
11. ヴアラジュディンへ行こう (E. カールマン「伯爵令嬢マリツア」) ..... P. マツアーク=ソロトウルコヴァー、  
K. プロハースコヴァー、S. スヴィトック

